

特別版

できる アイビス

iVIS HF 11

映像編集編

清水理史 & できるシリーズ編集部



インプレスジャパン

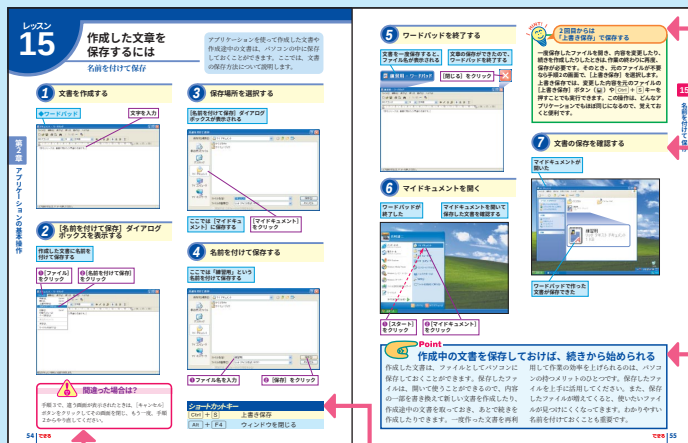
本書の読み方

レッスン

見開き2ページを基本に、
やりたいことを簡潔に解説

●やりたいことが見つけやすいタイトル
「○○するには」や「○○ってなに？」など「やりたいこと」や
「知りたいこと」がすぐに見つけられるタイトルがついています。

●機能名で引けるサブタイトル
「あの機能を使うにはどうするんだっけ？」そんな時に便利。
機能名やサービス名などで調べやすくなっています。



HINT!

レッスンに関連した、さまざまな機能を
紹介したり、一歩進んだ使いこなしの
テクニックまで解説します。

手順

必要な手順を、すべての画面とすべての
操作を掲載して解説します。

Point

操作の要点をていねいに解説。レッスン
で解説している内容をより深く理解する
ことで、確実に使いこなせるようになります。

間違った場合は？

手順の画面と違う時にはまずここ。
操作を間違った場合の対処法を解説
してあるので安心です。

ショートカットキー

知っておくととにかく便利。めんどろな
操作を、キーボードを押す組み合わせ
だけで簡単に使えます。

●用語の使い方

本文中では「iVIS HF11」のことを「アイビス」または「iVIS」、「ImageMixer 3 SE Ver.3」のことを「ImageMixer 3 SE」と記述しています。また、本文中で使用している用語は、基本的に実際の画面に表示される名称に則っています。

●本書の前提

本書の各レッスンは、キャノン株式会社製のハイビジョンビデオカメラ「iVIS HF11（ダブルメモリーモデル）」を前提に画面を再現しています。また、本書では、Windows Vista Home PremiumにImage Mixer 3 SEをインストールした環境をもとに画面を再現しています。DVD-R、DVD-RW、DVD-R DL、BD-R、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DLへの書き込みに対応したパソコンを使用しています。

●本書に掲載されている情報について

本書に掲載されている情報は、2008年8月現在のものです。本書の発行後に、情報が変更されることもあります。

「できる」、「できるシリーズ」は、株式会社インプレスジャパンの登録商標です。

アイビス、iVISは、キャノン株式会社の商標です。

ImageMixerは、株式会社ピクセラの商標です。

iPod、iTunesはApple Inc.の商標です。

Microsoft、Windows、Windows Vistaは、米国Microsoft Corporationの登録商標または商標です。

Blu-rayはBlu-ray Disc Associationの商標です。

その他、本文中の製品名およびサービス名は、一般に各開発メーカーおよびサービス提供元の商標または登録商標です。

なお、本文中には“および”マークは明記していません。

Copyright © 2008 Masashi Shimizu and Impress Japan Corporation. All rights reserved.

本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複製、複製等の利用はできません。

まえがき

「ハイビジョン」、「映像編集」、「ブルーレイディスクやDVDへの書き出し」、「iPodや動画共有サイトでの活用」、このような言葉だけを聞くと、いかにも「難しそうだなあ…」という印象を持つ人が多いのではないのでしょうか？

本書は、これまで敷居が高いと思われがちだった映像の編集などを誰でも手軽に楽しむことができるように構成されています。アイビスと付属のソフトウェアである「ImageMixer 3 SE」を利用し、撮影した映像の取り込みから、編集、さまざまな形態での書き出しまで、その使い方や活用方法を丁寧に解説しています。

これまでは、もっぱら撮る専門だったという人でも、きっと映像を編集したり、完成した映像をiPodや動画共有サイトなどで楽しんだりできるようになるはずです。本書を通して、読者のみなさんの映像の楽しみ方が少しでも広がれば幸いです。

2008年8月 清水理史

できるアイビス iVIS HF11 映像編集編

① 撮影した映像をパソコンで楽しもう	<撮影した映像のいろいろな活用方法>	2
② アイビスからパソコンに映像を取り込むには	<ImageMixer 3 ランチャー>	4
③ 取り込んだ映像の編集を開始するには	<ImageMixer 3 Library>	8
④ 気に入った場面を切り出すには	<映像のカット編集>	10
⑤ 映像に効果を付けるには	<トランジション>	14
⑥ 編集した内容を保存するには	<プロジェクトの保存>	16
⑦ ハイビジョン画質で書き込む準備をするには	<Blu-ray作成リスト>	18
⑧ ハイビジョン画質で書き込むには	<ブルーレイディスクへの書き込み>	20
⑨ スタANDARD画質でDVDに書き込む準備をするには	<DVD作成リスト>	22
⑩ スタANDARD画質でDVDに書き込むには	<DVDへの書き込み>	24
⑪ 映像をiPodやブログで楽しむには	<ファイルの書き出し>	26
⑫ 映像をアイビスやSDカードに保存するには	<ファイルの書き戻し>	28

レッスン 1

撮影した映像を パソコンで楽しもう

撮影した映像のいろいろな活用方法

アイビスで撮影したハイビジョン映像をパソコンに取り込んで、編集したり、ブルーレイディスクやDVDに書き出してみます。まずは、全体の作業の流れを確認します。

アイビスで撮影した映像を 活用する流れ

アイビスには撮影した映像をいろいろな方法で楽しむための「ImageMixer 3 SE」というソフトウェアが付属しています。

ImageMixer 3 SEで映像を楽しむための作業は大きく3つに分けられます。まずは、その流れをかんたんに見てみましょう。

映像の取り込み

アイビスをパソコンに接続し、撮影した映像を取り込みます。アイビスとパソコンの接続には、付属のUSBケーブルを利用します。

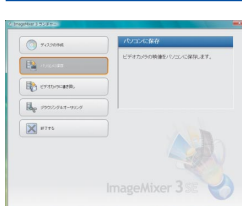


アイビスで撮影したハイビジョン映像をパソコンに取り込む

▶▶ レッスン② 参照

映像の編集

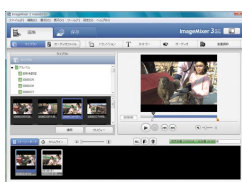
● ImageMixer 3 SEの起動



映像の編集、ブルーレイディスクやDVDの作成などには、付属の「ImageMixer 3 SE」というソフトを使います。起動などの基本操作を確認しましょう。

▶▶ レッスン③ 参照

● 気に入った場面を切り出す



映像に不要なシーンが含まれている場合は、カットなどの作業をして、必要なシーンだけの映像に編集します。

▶▶ レッスン④ 参照

● 映像にトランジション効果を付ける



映像が切り替わる部分にトランジション効果を設定して、スムーズに映像をつなげたり、映像にコメントを挿入したりして、オリジナルの映像を作成します。

▶▶ レッスン⑤ 参照



パソコンのハードディスクの 空き容量に注意しよう

アイビスで撮影したハイビジョン映像をパソコンに取り込むには、映像ファイルを保存しておくのに十分な空き容量がハードディスクに必要です。長時間の映像やたくさんの映像を取り込んでいるうちに、パソコンのハードディスクがいっぱいになってしまうこともありますので、取り込み前に数十GB～数百GBの空き容量があることを確認しておきましょう。



ImageMixer 3 SEの 最新情報を入手しよう

ImageMixer 3 SEの特長や最新のアップデートファイルなどは、以下のホームページで参照したり、ダウンロードしたりすることができます。定期的にアクセスして、最新の情報を入手するようにしておくとよいでしょう。

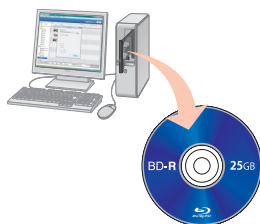
▼株式会社ピクセラ
ImageMixer 3 SE ホームページ
<http://www.pixela.co.jp/oem/canon/j/>

1

撮影した映像のいろいろな活用方法

映像の活用

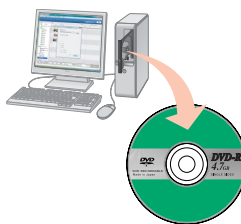
●ブルーレイディスクへの書き出し



ハイビジョン映像をそのままの画質で残したいときは、ブルーレイディスクに保存するとよいでしょう。高画質モードで撮影、編集した映像を美しい映像のままいつまでも楽しめます。

▶▶ レッスン⑦⑧参照

●DVDへの書き出し



家庭用のどのプレーヤーでも手軽に再生できる、スタンダード画質のDVDが作れます。AVCHD規格で保存すれば、AVCHD規格対応のプレーヤーで再生できるハイビジョン画質のDVDを作れます。

▶▶ レッスン⑨⑩参照

●iPodやブログ用のファイルの書き出し



iPodで再生したり、動画共有サイトやブログに投稿するためのファイル形式に書き出すこともできます。

▶▶ レッスン⑪参照

●アイビスやSDカードへの書き戻し



パソコンで編集した映像を再びアイビス本体の内蔵メモリーやSDカードに保存して持ち歩くこともできます。

▶▶ レッスン⑫参照



Point

いろいろな活用方法でアイビスを楽しもう

アイビスとImageMixer 3 SEを組み合わせると、撮影したハイビジョン映像をいろいろな方法で活用できます。一般的なビデオカメラと同じように、映像を編集してパソコンに保存したり、ブルーレイディスクやDVDに書き出すことはもちろんのこと、iPod用のファイ

ルを作成したり、動画共有サイトやブログに投稿するためのファイルを作成したりすることも、手軽にできます。アイビスに映像を書き戻して持ち歩けば、テレビにアイビスをつないで映像を再生することもできます。いろいろな方法で映像を楽しんでみましょう。

アイビスからパソコンに 映像を取り込むには

ImageMixer 3 ランチャー

アイビスから映像をパソコンに 取り込むには

アイビスで撮影したハイビジョン映像をパソコンに取り込むには、「ImageMixer 3 SE」というソフトウェアを利用します。アイビスに付属しているCD-ROMに収録されていますので、あらかじめパソコンにインストールしておきましょう。

1 ImageMixer 3 SE Camera Monitor Ver.3を確認する

あらかじめアイビス HF11に付属している「PIXELA ImageMixer 3 SE Ver.3」CD-ROMから「ImageMixer 3 SE」をインストールしておく



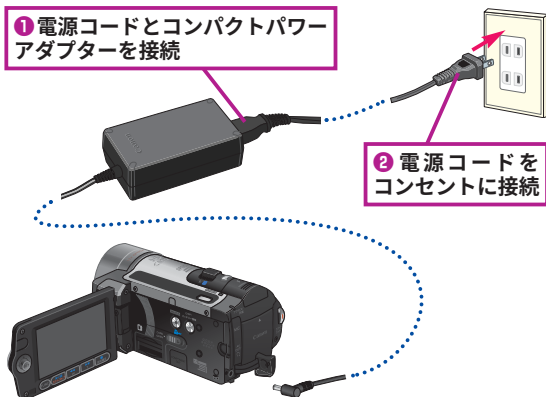
通知領域に「ImageMixer 3 SE Camera Monitor Ver.3」アイコンが表示されていることを確認



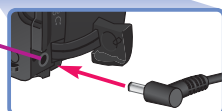
2 アイビスとコンパクトパワー アダプターを接続する

① 電源コードとコンパクトパワーアダプターを接続

② 電源コードをコンセントに接続



③ コンパクトパワーアダプターをアイビスのDC IN端子に接続



映像を活用するための最初のステップはパソコンへの取り込みです。アイビスをパソコンに接続して、撮影したハイビジョン映像をパソコンに取り込みましょう。

3 アイビスとパソコンを接続する



① USBケーブルをパソコンのUSBポートに接続



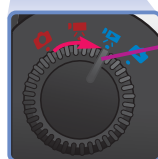
② アイビスのUSB接続端子に、USBケーブルを接続

4 アイビスを動画再生モードに 切り換える

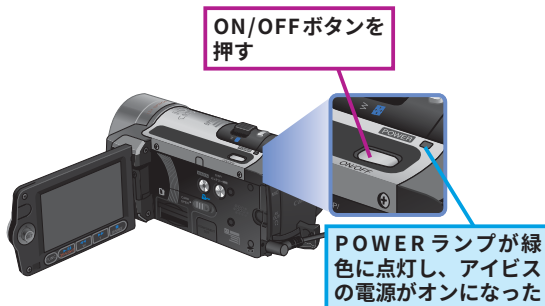
アイビスが動画再生モードでオンになるようにあらかじめモードを切り換えておく



アイビスのモードダイヤルを動画再生側に合わせる

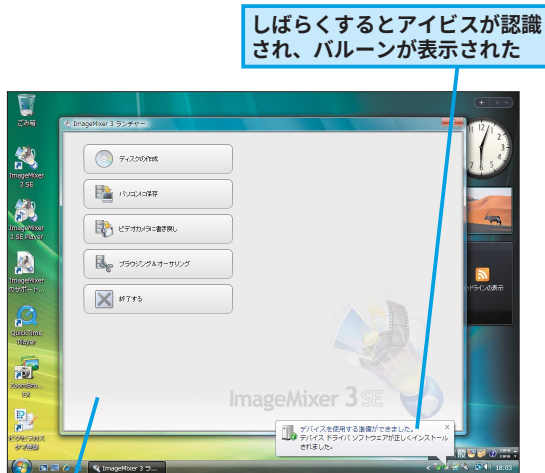


5 アイビスの電源をオンにする



注意 アイビスの画面に「接続機器を選択してください」と表示されたときは「パソコンなど」を選択してください。

6 ImageMixer 3 ランチャーが表示された



パソコンにアイビスが接続されると、自動的に「ImageMixer 3 ランチャー」が起動する

◆ImageMixer 3 ランチャー
ImageMixer 3 の持つ機能をかんたんに起動することができる

注意 手順6で「自動再生」ダイアログボックスが表示されたときは、「閉じる」をクリックし、ダイアログボックスを閉じ、手順を続けます。



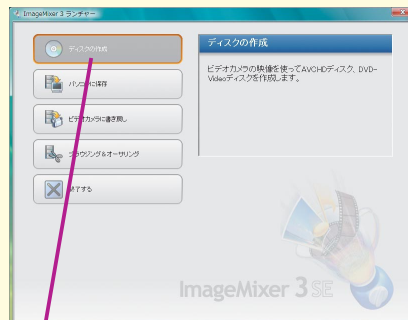
間違った場合は？

手順6でImageMixer 3 ランチャーが自動的に起動しなかったときは、アイビスがパソコンにきちんと接続されているか、電源がオンになっているかを確認して手順をやり直します。



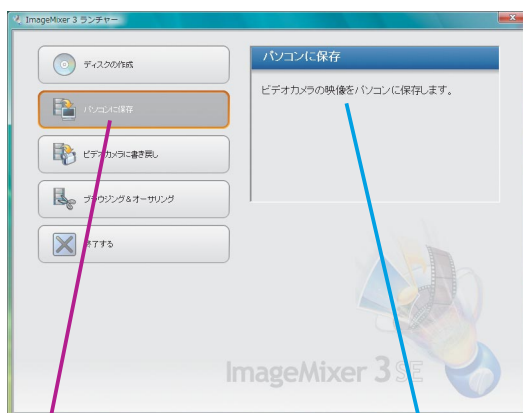
アイビスの映像をかんたんにDVDへ保存できる

ImageMixer 3 SEでは、アイビスの映像をパソコンに取り込まずに、直接DVDに保存することができます。手順7で「ディスクの作成」ボタンをクリックし、画面の指示に従っていけば、パソコンのドライブにセットしたDVDに映像をそのまま書き込みます。映像をバックアップとしてすばやく保管したいときやほかの人に手軽に渡したいときに利用すると便利です。操作はレッスン⑩の手順4以降を参考にしてください。



7 映像の保存を開始する

ここではアイビスで撮影した映像をパソコンに保存する



各項目にマウスポインタを合わせると、ここにかんたんな説明が表示される

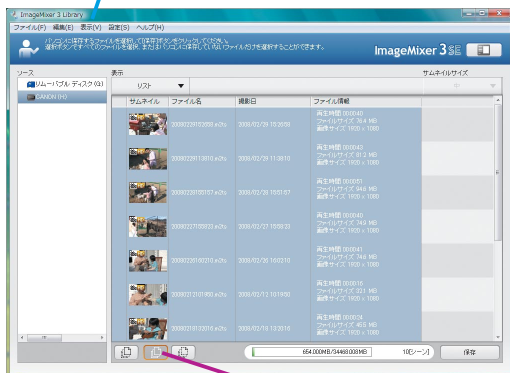
次のページに続く

8

保存する映像を選択する

[ImageMixer 3 Library] が表示された

◆ImageMixer 3 Library
アイビスやパソコンに保存された映像を管理することができる

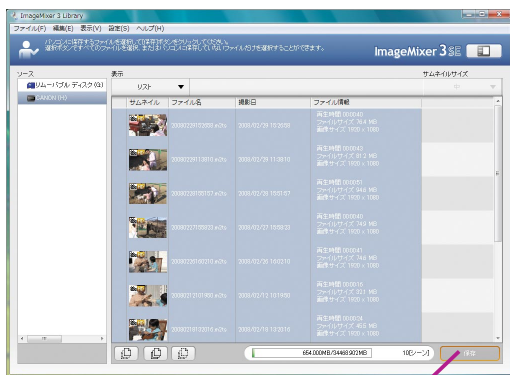


ここではアイビスに保存された映像をすべてパソコンに取り込む

[すべてのファイルを選択します。] をクリック

9

映像の取り込みを開始する



選択された映像は青色になって表示される

[保存] をクリック

10

映像の取り込みが開始された

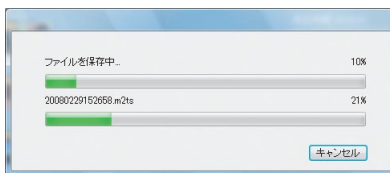
[パソコンに保存] ダイアログボックスが表示された



[実行] をクリック

映像の取り込みが
はじまった

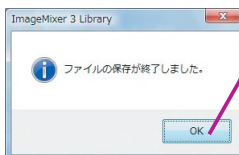
取り込みが完了するまで
しばらく待つ



11

映像の取り込みが完了した

[ファイルの保存が終了しました] と表示され、取り込みが完了した

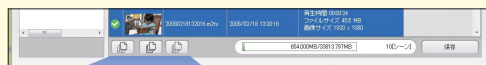


[OK] をクリック



すでにパソコンに取り込んだ映像があるときは

アイビスの映像を以前にパソコンに取り込んだことがある場合は、同じ映像がアイビスに残っている場合があります。このような場合は、手順8で[差分選択] ボタンをクリックすると、アイビスに保存されている映像のなかからまだ取り込んでいない映像だけを選んで、パソコンに取り込むことができます。



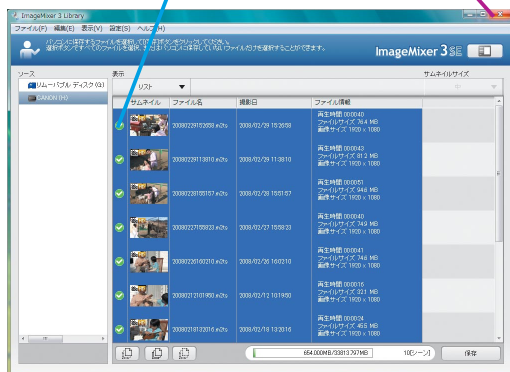
◆ [差分選択] ボタン

12 ImageMixer 3 Libraryを終了する

取り込まれた映像にはチェックマークが付いて表示される



[閉じる]をクリック



13 アイビスを安全に取り外せるようにする

[ImageMixer 3 Library]が閉じ、デスクトップが表示された

アイビスをパソコンから取り外せるようにする



① [ハードウェアの安全な取り外し]をクリック



② [USB大容量記憶装置 - ドライブ (G:, H:)を安全に取り外します]をクリック

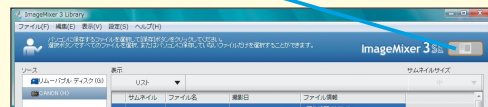
パソコンによって表示される内容が異なる



Hint! 続けて映像の編集をはじめするには

映像を取り込んだあとに、すぐ映像の編集をはじめたいときは、手順12で[閉じる]をクリックせず、[ImageMixer 3 SE ランチャーボタン]をクリックすると、手順7の画面に戻ります。映像編集についてはレッスン⑨で紹介していますので、そのまま手順を進めましょう。

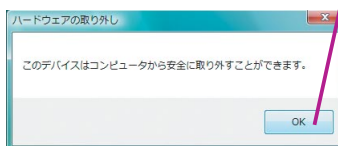
手順12でこのボタンを押すと、ImageMixer 3 ランチャー画面に戻る



14 アイビスを取り外せるようになった

[ハードウェアの取り外し]が表示された

[OK]をクリック



アイビスをUSBケーブルから取り外しておく



間違った場合は?

手順8で保存したい映像が表示されなかったときは、Hint! 「SDカードに保存された映像を取り込むには」を参考に映像の参照先をSDカードに切り替えてみましょう。

2

ImageMixer 3 ランチャー



Point

接続するだけでかんたんに映像を取り込める

アイビスで撮影した映像は、かんたんにパソコンに取り込むことができます。アイビスとパソコンをUSBケーブルで接続し、アイビスの電源を入れれば、自動的にImageMixer 3 ランチャーが起動しますので、取り込みを開始後、映像を選んで保存すれば、映像が自動的

にパソコンのハードディスクに保存されます。このように、パソコンでの作業は、すべてImageMixer 3 ランチャーが起点となります。取り込みや編集、書き出しなど、すべての操作をここから開始する入り口となりますので、使い方をしっかりと覚えておきましょう。

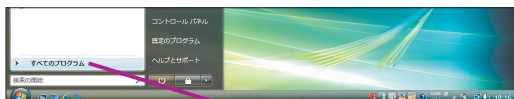
レッスン 3

取り込んだ映像の 編集を開始するには

ImageMixer 3 Library

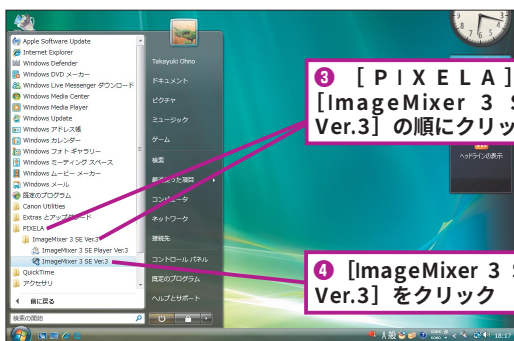
パソコンに取り込んだ映像は、
[ImageMixer 3 Library] で管理します。
まずは取り込んだ映像を確認し、そこから
次のステップの編集へと移りましょう。

1 ImageMixer 3 ランチャーを 起動する



① [スタート] を
クリック

② [すべてのプログラム] に
マウスポインタを合わせる

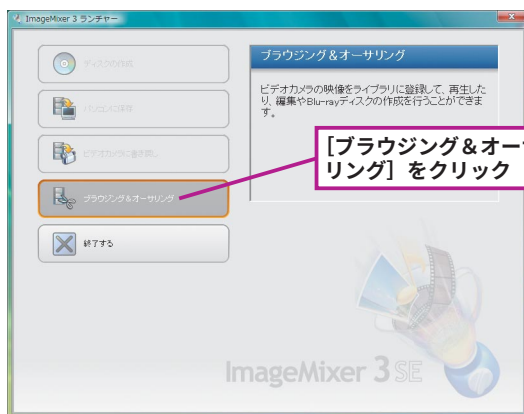


③ [PIXELA] -
[ImageMixer 3 SE
Ver.3] の順にクリック

④ [ImageMixer 3 SE
Ver.3] をクリック

2 ImageMixer 3 Libraryを 起動する

[ImageMixer 3 ランチャー] が表示された

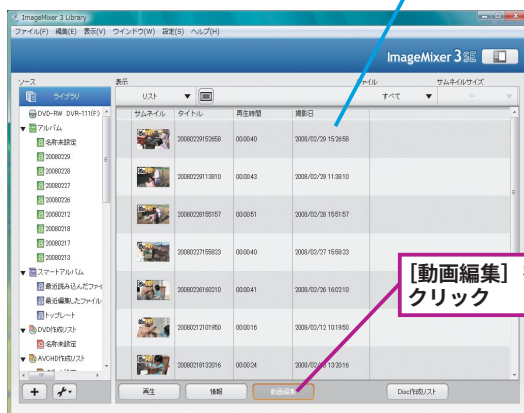


[ブラウジング&オーサ
リング] をクリック

3 映像の編集を開始する

[ImageMixer 3 Library]
が表示された

レッスン②で取り込んだ
映像が表示された



[動画編集] を
クリック



読み込まれた映像はアルバムに
自動的に登録される

アイビスからパソコンに取り込んだ映像は、撮影さ
れた日付ごとに「アルバム」という形でひとまとめ
に管理されます。このため、以前に取り込んだ映
像も、日付のついたアルバムをクリックすることで
手軽に参照できます。

取り込まれた映像は撮影日ごとに [アルバム]
という単位でまとめられる



間違った場合は？

手順4で [プロジェクトを読み込んで動画を編集する]
をクリックしてしまったときは、表示された画面で [キ
ャンセル] をクリックし、操作をやり直します。



作成済みのプロジェクトがあるときは

以前に行なった映像編集の内容をプロジェクトとして保存してある場合は、作成済みのプロジェクトを読み込んで作業を続けることもできます。手順4で「プロジェクトを読み込んで動画を編集する」ボタンをクリックしましょう。なお、プロジェクトの保存方法についてはレッスン⑥で紹介します。

4 プロジェクトを新規作成する

【動画編集】が表示された

プロジェクトを新規作成するかどうかを選択する

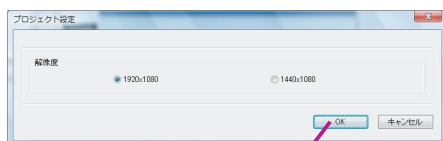


【新規に動画を編集する】をクリック

5 プロジェクトの設定を選択する

【プロジェクト設定】が表示された

解像度を選択する



ここでは特に何も変更しない

【OK】をクリック



読み込まれた映像を条件ごとにかんたんに集められる

ImageMixer 3 Libraryのスマートアルバムという機能を利用すると、設定した条件に従ってかんたんに映像を集めることができます。「運動会」や「入学式」など、タイトルやその他の条件で映像を分類したいときなどに利用すると便利でしょう。

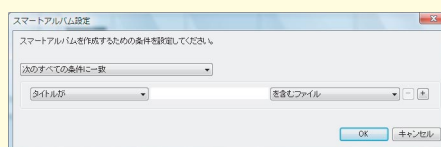
【ImageMixer 3 Library】を表示しておく

① 【ファイル】をクリック



② 【新規スマートアルバム】をクリック

映像をスマートアルバムに登録するための条件を設定する画面が表示された



6 映像の編集画面が表示された



【ImageMixer 3 VideoEditor】が表示された

この場所にクリップを配置してください



Point

取り込んだ映像をアルバムとして管理できる

通常、たくさんの映像をパソコンに取り込んでいくと、見たい映像がどこにあるのかわからなくなってしまうことがあります。ImageMixer 3 SEなら映像の管理もかんたんです。取り込んだ映像はImageMixer 3 Libraryに日付ごとのアルバムとして登録されるうえ、スマ

ートアルバムで条件ごとに分類できますので、見たい映像を手軽に探すことができます。ImageMixer 3 Libraryは、映像を管理するだけでなく、編集作業の開始をするためにも利用します。画面の構成や使い方を確認しておきましょう。

レッスン 4

気に入った場面を 切り出すには

映像のカット編集

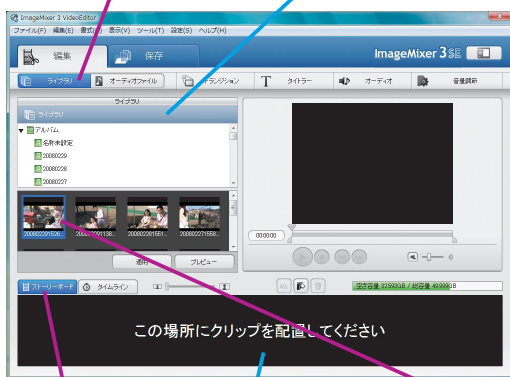
保存した映像を ImageMixer 3 VideoEditor に配置する

複数の映像をパソコンに取り込んだ場合、再生したい順番に映像を配置することが映像編集の第一歩となります。取り込まれた映像を配置してみましょう。

1 再生する映像を選択する

① [ライブラリ] をクリック

[ライブラリ] には取り込んだ映像が表示される



この場所にクリップを配置してください

② [ストーリーボード] をクリック

③ 最初に再生する映像をクリック

◆ストーリーボード
映像を再生する順番に配置
することができます

最初に再生する
映像を選択する



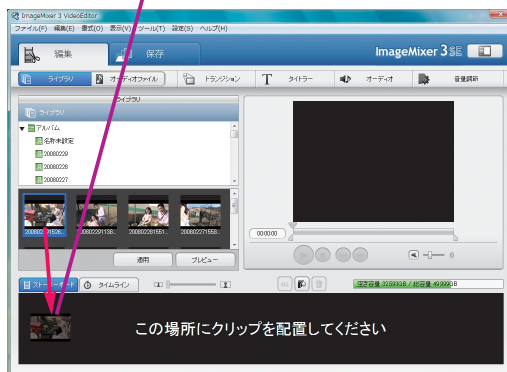
映像にあとから音声
付け加えることもできる

ナレーションのように、映像にあとから音声を追加することもかんたんにできます。画面上的 [オーディオ] ボタンをクリックすると、パソコンに接続 (内蔵) されたマイクなどを利用して、映像に追加するための音声を録音することができます。

2 映像をストーリーボードに配置する

選択した映像をここ
までドラッグ

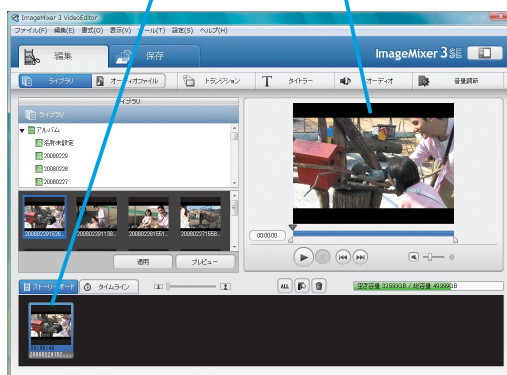
クリップの形式が異なると
表示された場合は [はい]
をクリックする



3 映像が配置された

映像がストーリーボードに
配置された

配置された映像のプレビ
ューが表示された



間違った場合は?

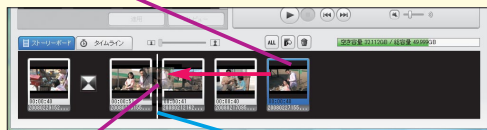
複数の映像がない場合は、1つの映像だけでも作業を進めることができます。手順3のあと、手順を飛ばして、手順6から作業を続けましょう。



再生の順番を並び替えるには

映像の順番はあとから変更することができます。以下の手順のように、順番を入れ替えたい映像をドラッグし、再生したい場所に移動しましょう。

① 並び替える映像をクリック



② 正しい順番になるようにドラッグ

移動先を示す線が表示される



テロップなどの文字を追加することもできる

画面上の「タイ틀ー」ボタンをクリックすると、映像にタイトルやテロップなどの文字を挿入することができます。映像の冒頭のタイトルや特定の場面のテロップなどに利用するとよいでしょう。

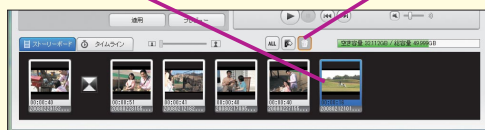


間違って配置した映像を削除するには

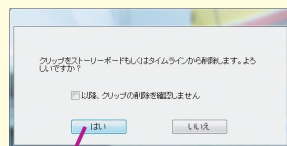
間違った映像を配置してしまったときは、その映像をマウスでクリックして選択し、[クリップを削除します。] ボタンをクリックすることで登録を解除できます。パソコンに取り込んだ映像自体が削除されてしまうわけでもありませんので、安心して作業しましょう。

① タイムラインから削除したい映像をクリック

② [クリップを削除します。] をクリック



映像をストーリーボードから削除してよいかどうかを確認する画面が表示された



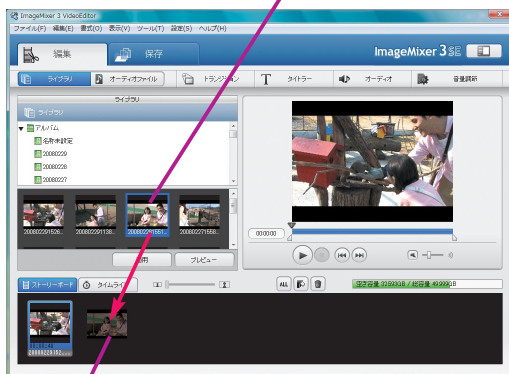
③ [はい] をクリック

選択した映像がストーリーボードから削除された

4 続けて映像を配置する

2 番目に再生される映像を配置する

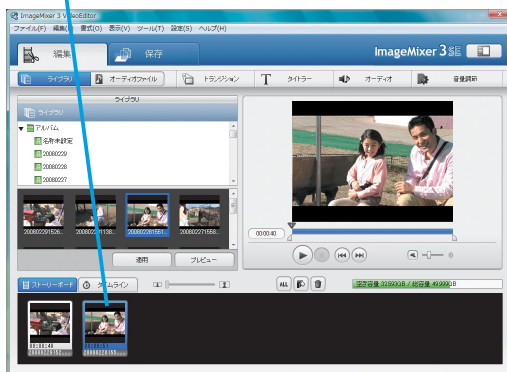
① 2 番目に再生される映像を選択



② ストーリーボードにドラッグ

5 2 番目に再生される映像を配置できた

続けて再生される映像を配置できた

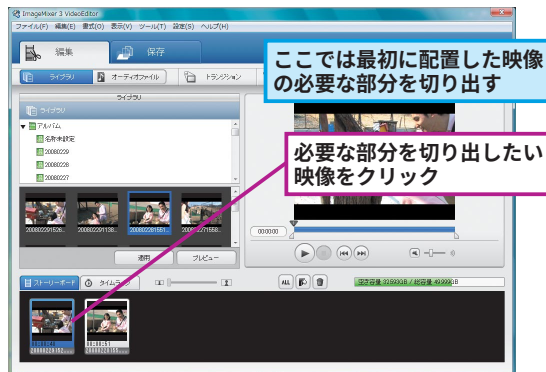


次のページに続く

配置した映像から気に入った場面を切り出す

映像のなかから、特定の場面だけを切り出してみましょ。場面の切り出しには、スライダーを利用して映像のイン点とアウト点を指定します。

6 気に入った場面を切り出す映像を選択する



1つの映像から複数の場面を切り出すには

1つの映像のなかに、切り出したい場面がいくつもあるときは、[複数トリミング] を利用すると効率的です。映像を右クリックして [複数トリミング] を選択後、レッスンと同様にイン点とアウト点を指定して [カット] ボタン (✂) をクリックします。この操作を繰り返すことで、映像から複数の場面を切り出せます。

① 複数の場面を切り出したい映像を右クリック

② [複数トリミング] をクリック

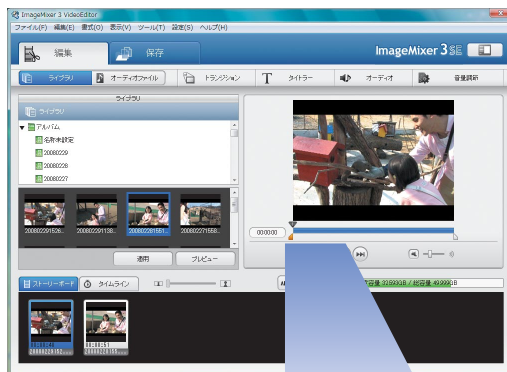


[複数トリミング] が表示された

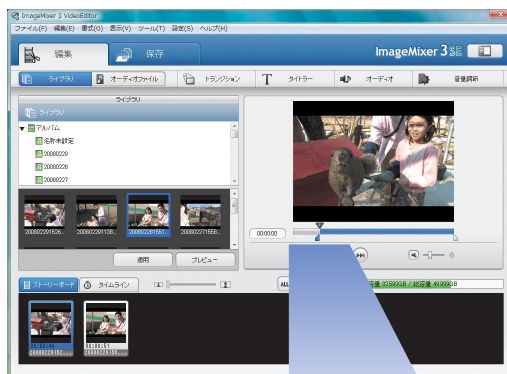


7 気に入った場面の始点を指定する

必要な場面の始点をイン点スライダーで調節する



◆イン点スライダー



必要な場面の始点までイン点スライダーをドラッグ

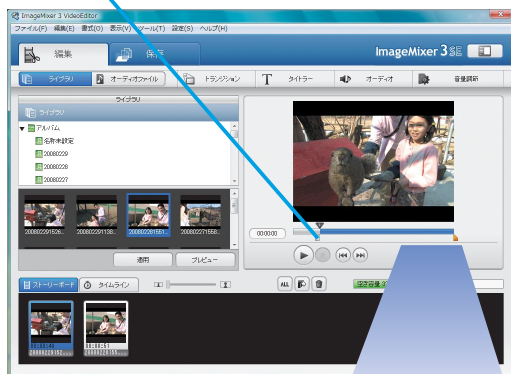


間違った場合は？

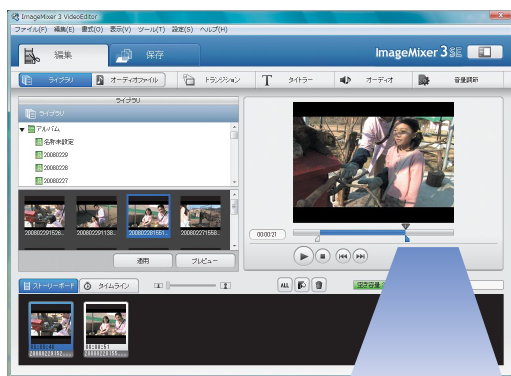
イン点やアウト点の位置を間違えてしまったときは、もう一度、スライダーの位置を調整します。

必要な場面の始点を調節できた

続けて必要な場面の終点をアウト点スライダーで調節する



◆アウト点スライダー



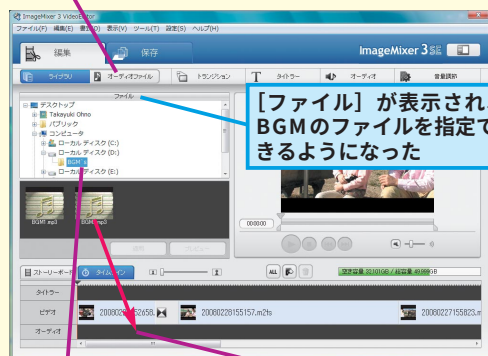
必要な場面の終点までアウト点スライダーをドラッグ

必要な場面の始点と終点を調節できた



ImageMixer 3 VideoEditorでは、お気に入りの音楽や映像のシーンに合わせた音楽をBGMとして設定することもかんたんにできます。WAV形式、またはMP3形式の音楽ファイルをBGMとして設定することができますので、あらかじめパソコンに保存しておいてから、映像にBGMを追加しましょう。

①手順8で「オーディオファイル」をクリック



「ファイル」が表示され、BGMのファイルを指定できるようになった

②BGMとなる音楽ファイルが保存されている場所を開く

③「オーディオ」に音楽ファイルをドラッグして配置する



Point

映像編集のコツは始点と終点の細かい調整

撮影した映像を編集して、思い通りの映像に仕上げたいときは、編集作業での場面選択が重要なポイントとなります。映像のなかには、余計な場面や意図せず撮影してしまった場面が意外に多く含まれています。このような場面を省き、必要な場面だけ選択するようにし

てみましょう。ただし、省きすぎると前後関係がわからなくなってしまうことなどもありますので、作業が完了したら、「[ALL] ボタンをクリックして映像をすべて選択してから、「再生」 ボタンをクリックして映像の流れやつながりをチェックしてみましょう。

レッスン 5

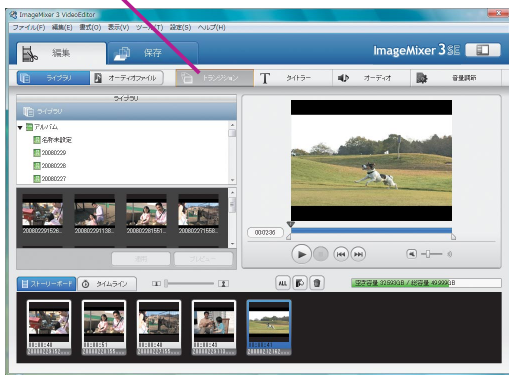
映像に効果を 付けるには

トランジション

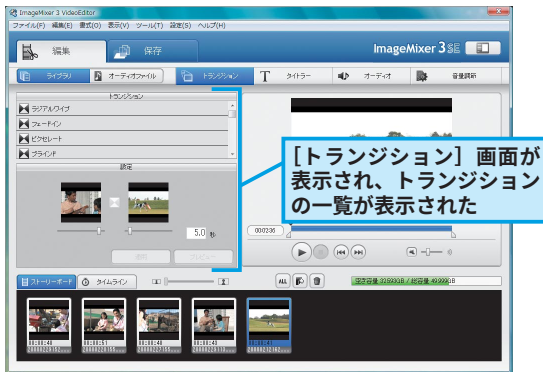
映像に「トランジション」と呼ばれる切り替え効果を設定してみましょう。トランジションを設定すると、場面の切り替えをスムーズに見せることができます。

1 [トランジション] 画面を表示する

[トランジション] を
クリック



2 [トランジション] 画面が表示された



[トランジション] 画面が
表示され、トランジション
の一覧が表示された

3 トランジションを付ける映像を 選択する

トランジションは
2つの映像にまた
がって設定される

トランジションを付ける映像の
2番目の映像を選択する



トランジションを付ける
映像をクリック

トランジションを設定
する始点と終点の映像
が表示される

4 トランジションを選択する

ここではトランジションとして
フェードインを選択する

[フェードイン] を
クリック



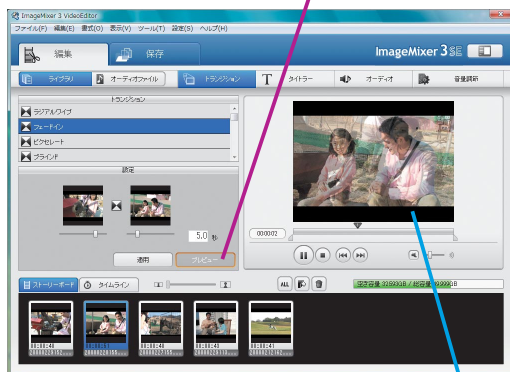
トランジションの長さを
調整するには

トランジションの長さは標準では5秒程度に設定されています。それ以上長く時間効果を設定したいときは、手順5で「プレビュー」ボタンの上に表示されている時間を変更しましょう。

5 トランジションを確認する

選択したトランジションを確認する

「プレビュー」をクリック

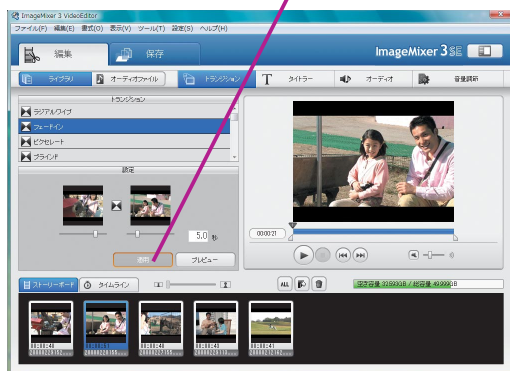


選択したトランジションが再生される

6 トランジションを適用する

トランジションが確認できたので、適用する

「適用」をクリック

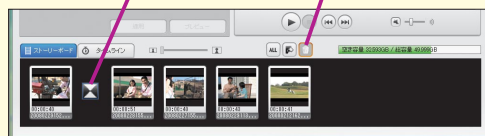


適用したトランジションを削除するには

設定したトランジションを削除したいときは、手順7で映像の間に表示されているトランジションをクリックして選択してから、[クリップを削除します。]をクリックすることで設定したトランジションを削除できます。

① ストーリーボード上のトランジションをクリック

② [クリップを削除します]をクリック



7 トランジションが適用された



ストーリーボードに適用したトランジションが表示された



間違った場合は？

設定するトランジションを間違えたときは、もう一度、設定し直したい映像を選択し、別のトランジションを選んで「適用」をクリックすることで変更できます。



Point

あまり効果を付けすぎないようにしよう

ImageMixer 3 SEでは、映像のシーンの切り替えに効果を設定したり、映像にテキストや音声を追加したりするような演出がかんたんにできます。しかし、このような演出は、あまり多用しないことが重要です。たとえばシーンの切り替えごとにいろいろな効果が表示

されると、見ていて疲れる映像になってしまいます。トランジションやテキスト、音声などは、あくまでもオリジナルの映像を助けるための脇役です。あまり効果を追加しすぎると肝心の映像の雰囲気が損なわれてしまいますので、適度に抑えることが大切です。

レッスン 6

編集した内容を 保存するには

プロジェクトの保存

編集内容を保存する

ここまでの作業内容をプロジェクトとして保存しておきましょう。編集作業は長い時間かかる場合もありますので、ある程度の区切りで保存するようにしておくと安心です。

1 プロジェクトを保存する

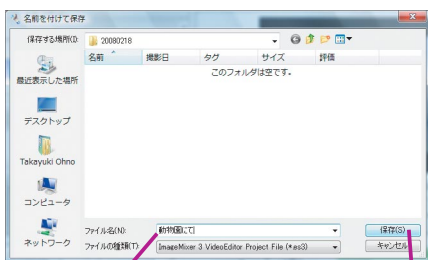
ここまでの手順で編集した内容を保存する

1 [ファイル] をクリック



2 [プロジェクトを保存する] をクリック

[名前を付けて保存]が表示された



3 [ファイル名] にプロジェクト名を入力

4 [保存] をクリック

2 プロジェクトが保存された

編集内容がプロジェクトとして保存された



編集したプロジェクトを 映像ファイルとして保存する

編集したプロジェクトを映像ファイルとして保存しましょう。編集していた複数の映像ファイルがまとめられ、しかも適用した編集内容などが反映された1つの映像ファイルにまとめられます。映像を完成させるための仕上げ作業といえるでしょう。

3 [保存] 画面を表示する

[保存] をクリック

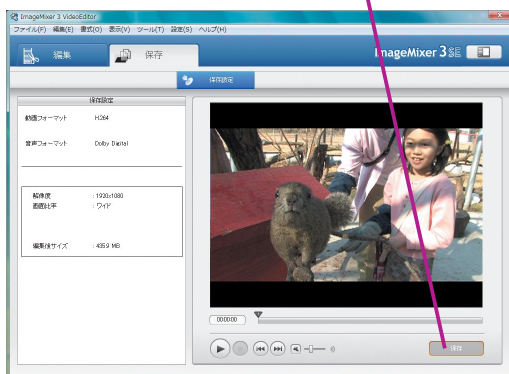


4

編集した映像を保存する

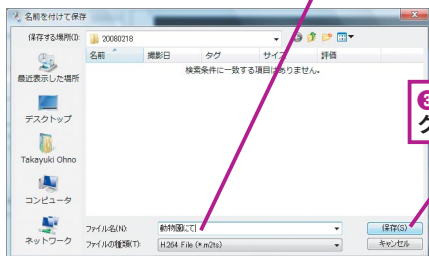
【保存】画面が
表示された

① 【保存】をクリック



【名前を付けて保存】
が表示された

② 【ファイル名】に映
像のファイル名を入力



③ 【保存】を
クリック

編集した映像の保存
には時間がかかる



間違った場合は？

手順1でプロジェクトのファイル名を間違えてしまったときは、あとからフォルダを開いてファイル名を変更します。Windows Vistaの場合、初期状態では「ビデオ」フォルダにある「IMxLibrary」のなかの「Edit」フォルダに日付ごとのフォルダが作成され、そこにプロジェクトが保存されます。



Point

完成したプロジェクトは1つの映像として保存する

映像の編集作業が完了したら、その内容を忘れずに保存しておきましょう。ただし、2種類ある保存方法のうち、プロジェクトの保存はあくまでも作業内容を保存しておくためのものです。映像を完成した作品として仕上げるためには、映像ファイルや編集した作業内



「プロジェクト」ってなに？

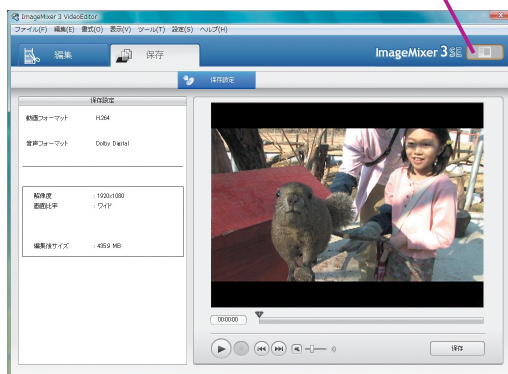
編集作業に使った素材となる映像、その映像に加えたカット編集やトランジションなどの編集内容など、これまでの編集作業をまとめて管理するものです。編集内容を途中で中断したいときや、あとから編集作業をやり直せるようにしたいときは、忘れずにプロジェクトを保存しておきましょう。

5

ImageMixer 3 Libraryに 戻る

映像編集を終了し、ImageMixer 3
Libraryに戻る

ここをクリック



ブルーレイディスクへの保存は⑦⑧へ

DVDへの保存は⑨⑩へ

iPodなどにファイル変換するには⑪へ

SDカードなどへの書き戻しは⑫へ

ショートカットキー

Ctrl + S

プロジェクトを保存する

6

プロジェクトの保存

レッスン 7

ハイビジョン画質で 書き込む準備をするには

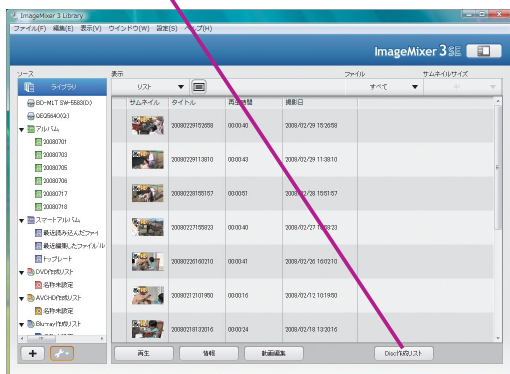
Blu-ray作成リスト

編集した映像をブルーレイディスクに保存
してみましょう。まずは、書き込み前の準
備として保存したい映像の「Blu-ray作成
リスト」を作ります。

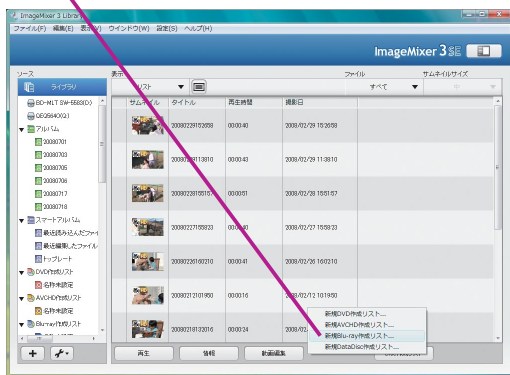
1 Blu-ray作成リストを 新規作成する

レッスン③を参考に [ImageMixer 3
Library] を表示しておく

① [Disc作成リスト] を
クリック



② [新規Blu-ray作成リスト]
をクリック



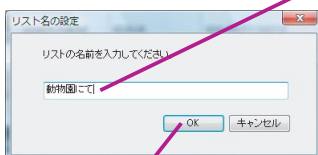
間違った場合は？

間違った映像を追加してしまったときは、手順5でそ
の映像を右クリックし [削除] を選んでリストから削除
します。

2 Blu-ray作成リストが 新規作成された

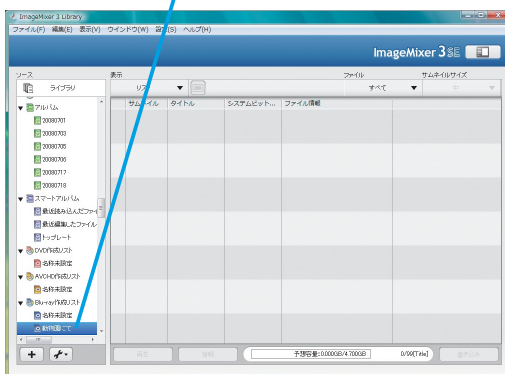
リスト名を設定する
画面が表示された

① Blu-ray作成リスト
の名前を入力

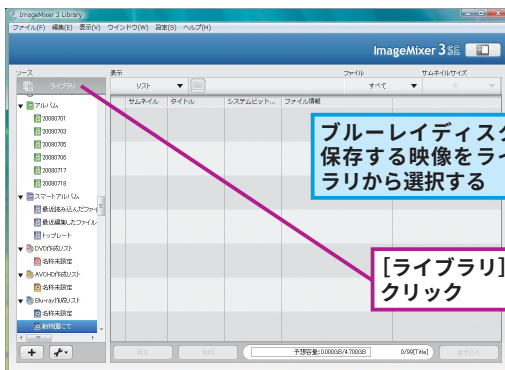


② [OK] をクリック

[Blu-ray作成リスト] に新規作成した
Blu-ray作成リストが表示された



3 ライブラリを表示する



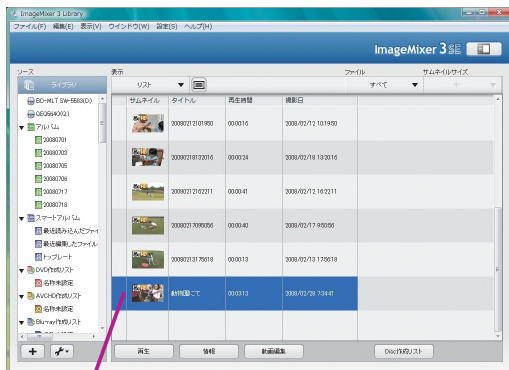
ブルーレイディスクに
保存する映像をライブ
ラリから選択する

[ライブラリ] を
クリック

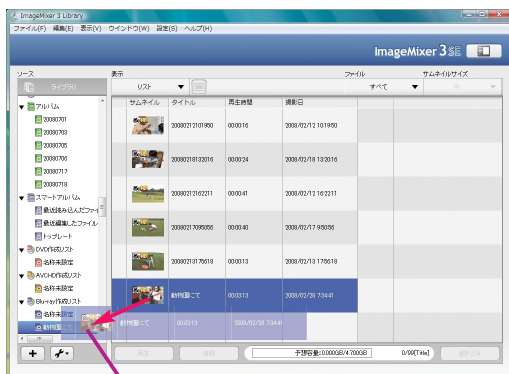
4

Blu-ray作成リストに 映像を追加する

書き込みたい映像をBlu-ray作成
リストに追加する



① 書き込みたい映像
をクリック



③ 手順2で作成したBlu-ray作成
リストにドラッグ



ハイビジョン画質でDVDに
保存するには

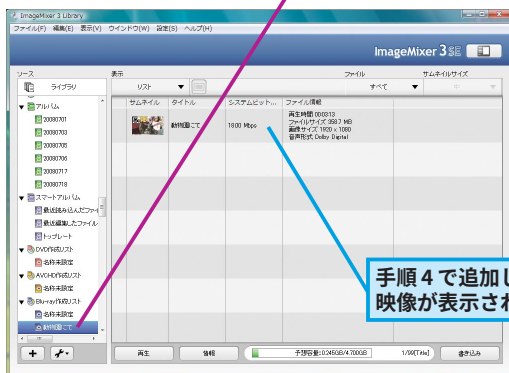
ImageMixer 3 SEでは、ハイビジョン映像を2種類の方法でDVDにも保存することができます。[AVCHD作成リスト]でDVDに映像を保存するとAVCHD規格に対応したDVDプレーヤーで再生することができますが、この場合、MXPモード(24Mbps)で撮影した映像の画質はFXPモード(17Mbps)相当に変換されてしまいます。一方、[DataDisc作成リスト]を選択すると、撮影した映像をデータとして、そのままディスクに保存することができます。この場合、再生環境はパソコンのみに限られますが、MXPモードの画質はそのままにDVDに映像を保存できます。また、DataDiscを再度読み込んで編集することも可能です。

5

Blu-ray作成リストに 映像を追加できた

Blu-ray作成リストに
映像が追加できたか
どうかを確認する

Blu-ray作成リスト
をクリック



手順4で追加した
映像が表示された

ほかにも追加したい映像が複数ある場合は、
手順3と4をくり返す



Point

最高画質でブルーレイディスクに保存しよう

アイビスには、MXPモードという非常に高画質の撮影モード(MPEG-4 AVC/1920×1080/24Mbps)が備えられています。このモードで撮影、編集した映像をきれいな画質のままディスクに保存したいときはブルーレイディスクを利用しましょう。MXPモードの映像は、AVCHD規格でDVDに保存すると画質が

変換されてしまいますが、ブルーレイディスクなら画質を変換せずにそのまま保存できます。ブルーレイディスクに映像を保存するには、手順1で「Disc作成リスト」から「新規Blu-ray作成リスト」を選ぶ必要があります。間違えないように操作しましょう。

7

Blu-ray作成リスト

レッスン 8

ハイビジョン画質で 書き込むには

ブルーレイディスクへの書き込み

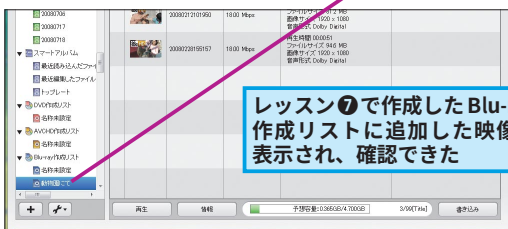
作成したBlu-ray作成リストを元に、実際に映像をブルーレイディスクに書き込んでみましょう。再生時に表示されるメニューも書き込み時に設定できます。

1 Blu-ray作成リストを確認する

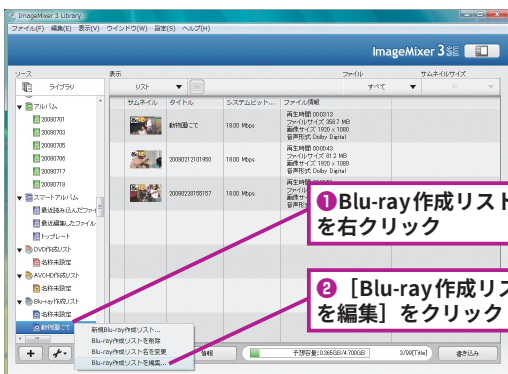
レッスン⑦で作成したBlu-ray作成リストを確認する

Blu-ray作成リストをクリック

レッスン⑦で作成したBlu-ray作成リストに追加した映像が表示され、確認できた



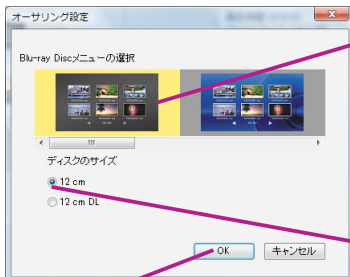
2 [Blu-rayメニューの選択] 画面を表示する



3 Blu-ray Disc メニューを選択する

[オーサリング設定] 画面が表示された

あらかじめ用意されたメニューから選択する

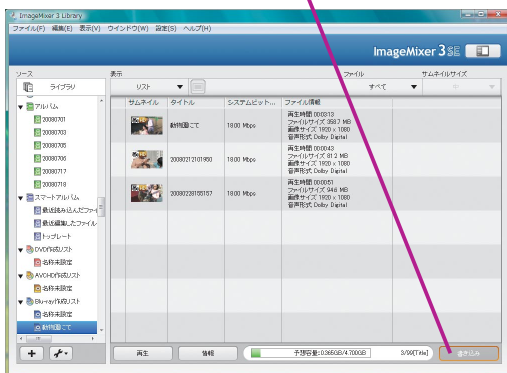


3 [OK] をクリック

4 ブルーレイディスクへの書き込みを開始する

Blu-ray Disc メニューを選択できた

[書き込み] をクリック



**ImageMixer 3 SEが対応している
ブルーレイディスクのメディアは？**

ImageMixer 3 SEが対応しているブルーレイディスクのメディアは、BD-R、BD-R DL、BD-RE、BD-RE DLの4種類となります。なお、パソコンに搭載されているドライブがブルーレイディスクの書き込みに対応していない場合は利用できませんが、市販のブルーレイディスクドライブを購入すれば利用することも可能です。たとえば、アイ・オー・データ機器製のBRD-UXH6やBRD-UM4はアイビスと動作確認がされています。

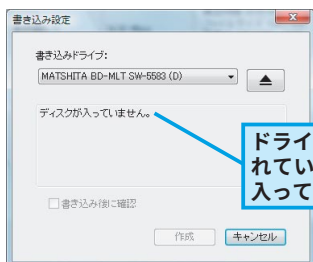


間違った場合は？

書き込む映像やメニューを間違えてしまったときは、手順5で [キャンセル] をクリックして設定をやり直しましょう。

5 ドライブにブルーレイディスクのメディアをセットする

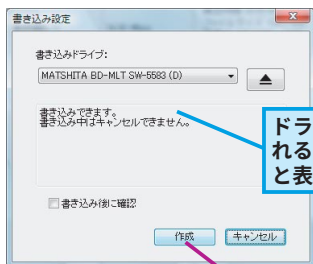
書き込み画面が表示された



ドライブにメディアがセットされていないため、「ディスクが入っていません」と表示される



6 ブルーレイディスクに書き込む



ドライブにメディアがセットされると、「書き込みできます」と表示される

「作成」をクリック



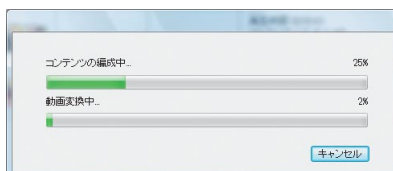
DataDisc形式でDVDに保存した映像を再生するには

DataDisc形式でDVDに保存した映像を再生するには、アイビスに付属している「ImageMixer 3 SE Player Ver.3」という再生ソフトが必要になります。ソフトウェアがインストールされていないパソコンでは映像を再生することができませんので注意が必要です。

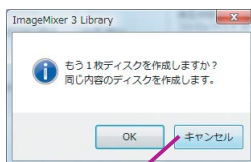
7 ブルーレイディスクの書き込みが開始された

ブルーレイディスクの書き込みがはじまった

書き込みが完了するまでしばらく待つ



同じ内容のブルーレイディスクを作るかどうかを確認する画面が表示された



ここでは1枚だけブルーレイディスクを作成する

「キャンセル」をクリック

同じ内容のブルーレイディスクを複製するときは「OK」をクリックする



Point

美しい映像をそのまま保存できる

ブルーレイディスクの特徴は何と言ってもその容量の大きさです。BD-RやBD-REで25GB、BD-R DLやBD-RE DLでは50GBもの容量のデータを保存することができます。このため、データ容量が大きくなりがちなMXPモードのような高画質モードで撮影した映像でもBD-R

なら約2時間分を1枚のディスクに納めることができます。パソコンに対応ドライブが搭載されている必要があるうえ、再生環境も対応パソコンもしくはブルーレイディスクプレーヤーと限られますが、映像の美しさを損なうことなく保存できるのがメリットです。

レッスン 9

スタンダード画質でDVDに 書き込む準備をするには

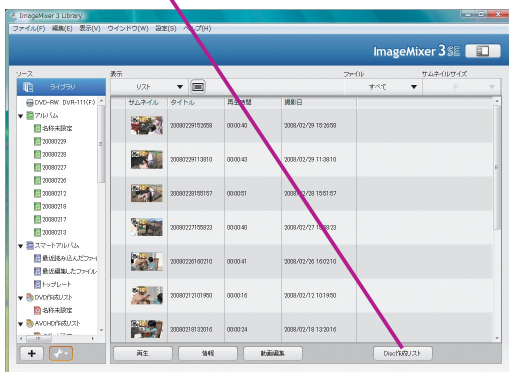
DVD作成リスト

パソコンに保存されている映像をDVDに保存してみましょう。保存前の準備として書き込む映像を選んだ「DVD作成リスト」を作ります。

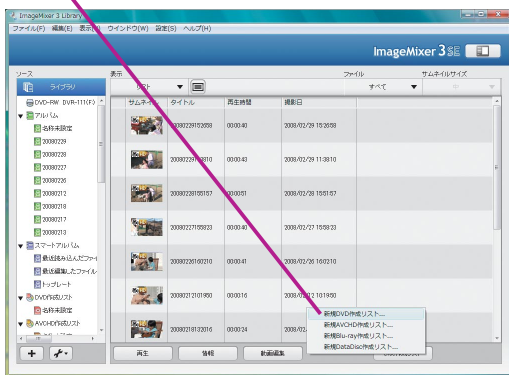
1 DVD作成リストを新規作成する

レッスン③を参考に [ImageMixer 3 Library] を表示しておく

① [Disc作成リスト] を
クリック



② [新規DVD作成リスト]
をクリック



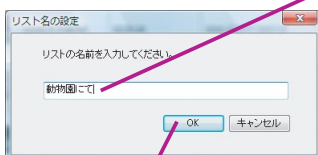
間違った場合は？

間違った映像を追加してしまったときは、手順4でその映像を右クリックし「削除」を選んでリストから削除します。

2 DVD作成リストが 新規作成された

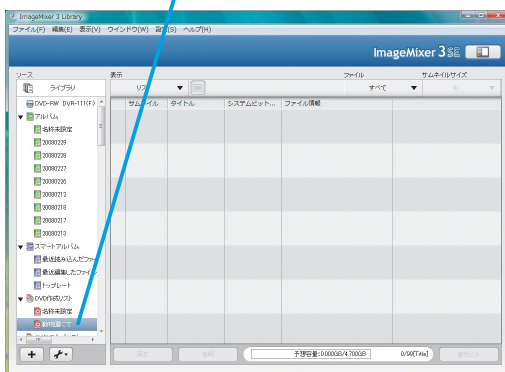
DVD作成リストの名前を
入力する画面が表示された

① DVD作成リストの
名前を入力



② [OK] をクリック

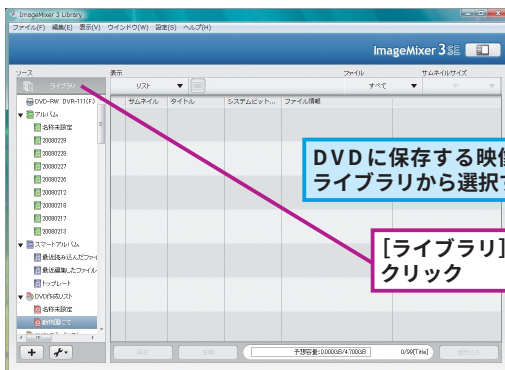
[DVD作成リスト] に新規作成した
DVD作成リストが表示された



3 ライブラリを表示する

DVDに保存する映像を
ライブラリから選択する

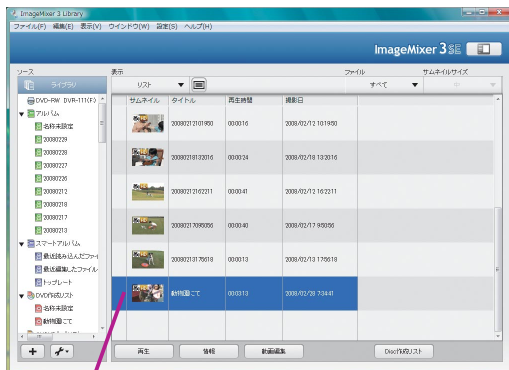
[ライブラリ] を
クリック



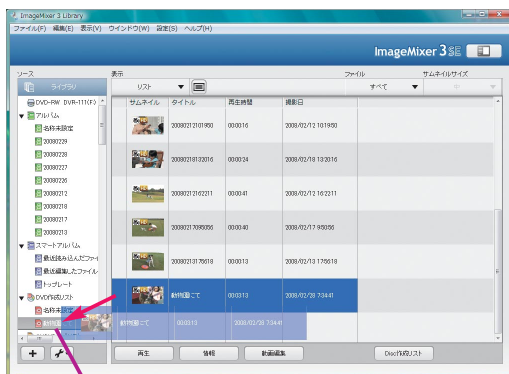
4

DVD 作成リストに
映像を追加する

DVDとして書き込みたい映像を
DVD作成リストに追加する



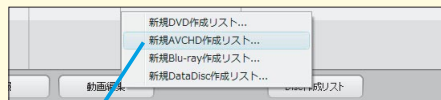
①書き込みたい映像
をクリック



③手順2で作成したDVD作成リスト
にドラッグ

AVCHD 規格の DVD を
作成するには

このレッスンでは、一般的なDVDプレーヤーで再生できる形式のDVDを作成しているため、ハイビジョン画質の映像が標準画質に変換されます。もしも、ハイビジョン画質の映像でDVDに保存したいときは、AVCHDと呼ばれる規格でDVDを作成する必要があります。手順1で「新規AVCHD作成リスト」を選んで作業を行ないましょう。ただし、AVCHD規格の場合、MXPモード（24Mbps）で撮影した映像はFXPモード（17Mbps）相当に変換されます。また、AVCHD規格のDVDを再生するにはAVCHD規格の再生に対応した機器が必要になります。



手順1で「新規AVCHD作成リスト」を選択
すると、AVCHD規格のDVDを作成できる

5

DVD 作成リストに
映像を追加できた

DVD作成リストに映像が追加
できたかどうかを確認する

DVD作成リスト
をクリック



手順4で追加した
映像が表示された

ほかにも追加したい映像が複数ある場合は、
手順3と4をくり返す



Point

DVD 作成リストを活用しよう

DVDに保存したい映像はリストとしてかんたんに管理できます。用途や映像の種類ごとに複数のリストを作ることでもありますので、編集した映像の作品リストや、ほかの人に渡すためのリスト、バックアップとして保管しておくためのリストなど、さまざまなリストを作る

とよいでしょう。リストには、このレッスンで紹介した「DVD作成リスト」以外に、利用するディスクや保存形式の違いによって4つの種類があります。最終的にどのようなディスクを使って、どの機器で再生したいのかを考慮してリストの種類を選びましょう。

レッスン 10

スタンダード画質で DVDに書き込むには

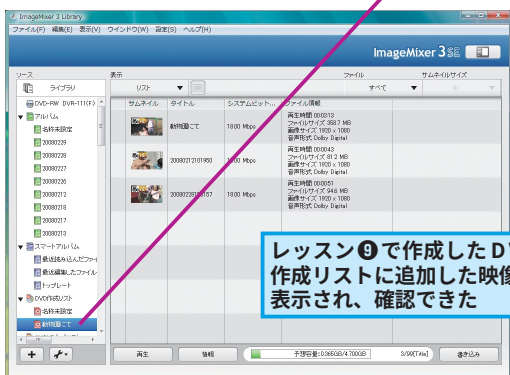
DVDへの書き込み

作成したリストを元に、映像をDVDに書き込んでみましょう。メニューの作成などもかんたんにできるため、手軽にオリジナルDVDを作成できます。

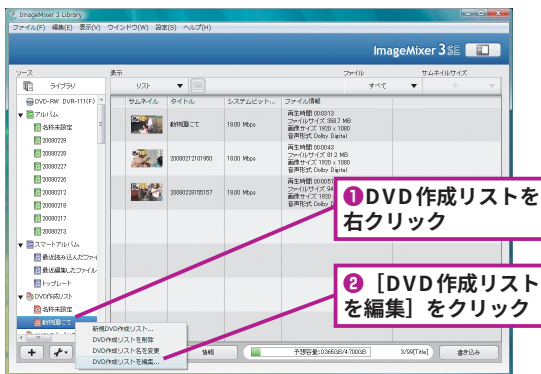
1 DVD作成リストを確認する

レッスン⑨で作成したDVD
作成リストを確認する

DVD作成リストを
クリック



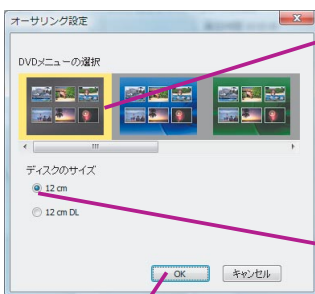
2 [DVDメニューの選択] 画面を表示する



3 DVDメニューを選択する

[オーサリング設定]
画面が表示された

あらかじめ用意された
メニューから選択する

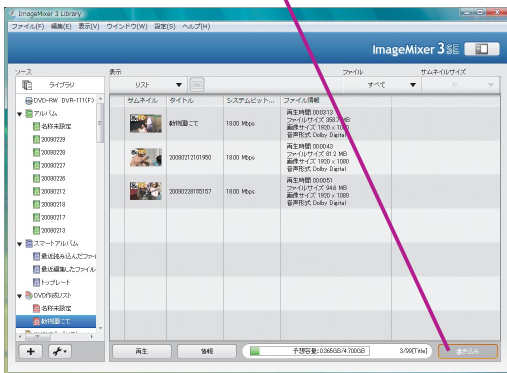


3 [OK] をクリック

4 DVDの書き込みを開始する

DVDメニューを
選択できた

[書き込み] を
クリック



**ImageMixer 3 SEが
対応しているDVDのメディアは？**

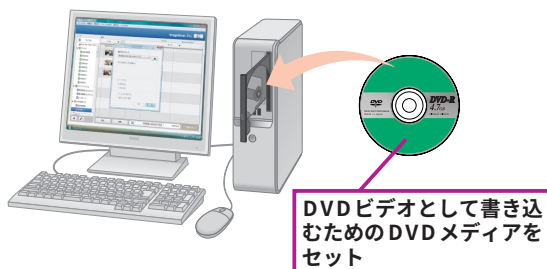
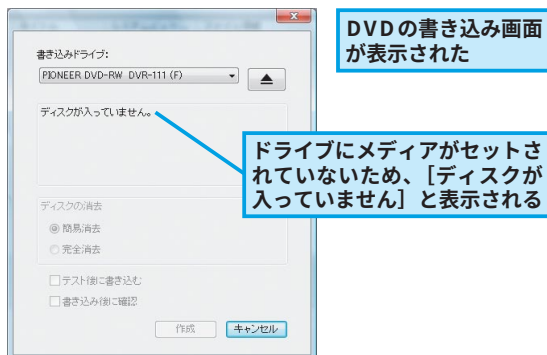
ImageMixer 3 SEが対応しているメディアは、DVD-R、DVD-RW、DVD-R DLの3種類となります。なお、これらの規格のメディアを利用した場合であっても、パソコンに搭載されているドライブが書き込みに対応していない場合は利用できません。



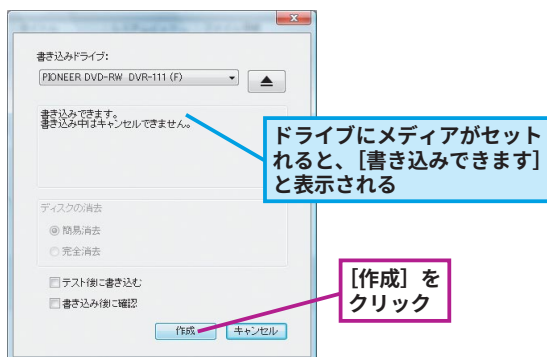
間違った場合は？

書き込む映像やメニューを間違えてしまったときは、手順5で「キャンセル」をクリックして設定をやり直しましょう。

5 ドライブにDVDメディアをセットする



6 DVDに書き込む



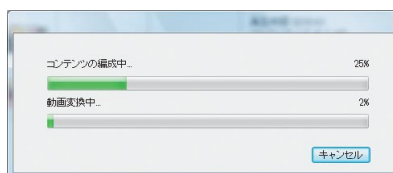
AVCHD 規格のディスク再生には対応機器が必要

AVCHD 規格で DVD を作成すると、映像を美しいハイビジョン画質のまま DVD に保存できるというメリットがありますが、その一方で再生環境が限られるというデメリットもあります。AVCHD 規格に対応したプレーヤーはまだ少ないため、家庭用の DVD プレーヤーで再生したい場合などは、その機器が AVCHD に対応しているかを確認しましょう。

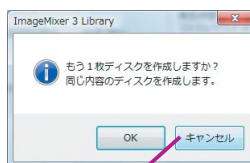
7 DVDの書き込みが開始された

DVDの作成画面が表示され、書き込みがはじまった

書き込みが完了するまでしばらく待つ



同じ内容のDVDを作るかどうかを確認する画面が表示された



ここでは1枚だけDVDを作成する

[キャンセル]をクリック

同じ内容のDVDを複製するときは[OK]をクリックする



Point

書き込む前によく確認しよう

ImageMixer 3 SEを利用すればDVDの作成はかんたんです。単に映像を保存するだけでなく、映像を選択するためのメニュー画面もかんたんに作成できますので、たくさんの映像を保存しても見たい映像をすぐ選べます。メニュー画面があれば、手間をかけて編集し

た映像と相まって、オリジナル作品としての完成度も上がるでしょう。ただし、メディアへの書き込みが開始されてしまうと、キャンセルができないため、せっかくのDVDメディアが無駄になってしまいます。書き込む前にもう一度、設定を確認しておくで安心です。

レッスン 11

映像をiPodや ブログで楽しむには

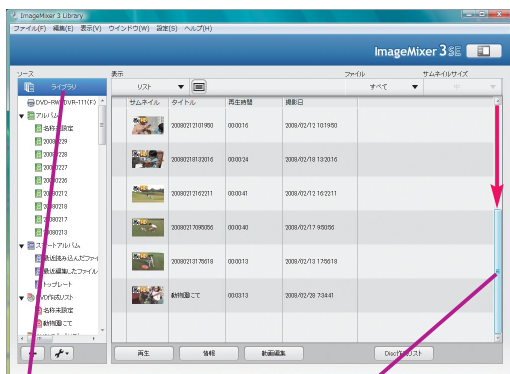
ファイルの書き出し

パソコンやDVDだけでなく、映像をもっといろいろな方法で楽しんでみましょう。ここでは映像をiPodなどの携帯プレーヤーやブログで楽しむ方法をご紹介します。

1 ファイルに書き出す 映像ファイルを選択する

ここでは、レッスン④～⑥で編集し、保存した映像をファイルとして書き出す

① レッスン⑥を参考にImageMixer 3 Libraryを表示しておく



② 「ライブラリ」をクリック

③ スクロールバーを下にドラッグしてスクロール

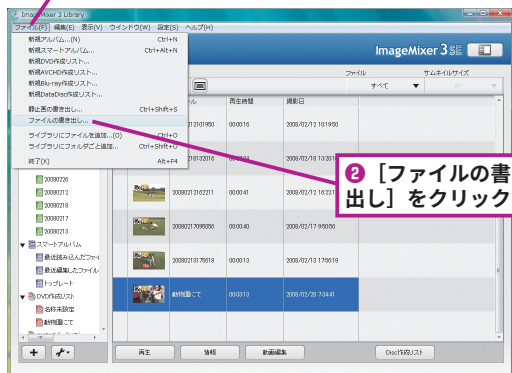
レッスン⑥で保存した映像が表示された

④ ファイルとして書き出す映像をクリック



2 「ファイルの書き出し」画面を表示する

① 「ファイル」をクリック



② 「ファイルの書き出し」をクリック

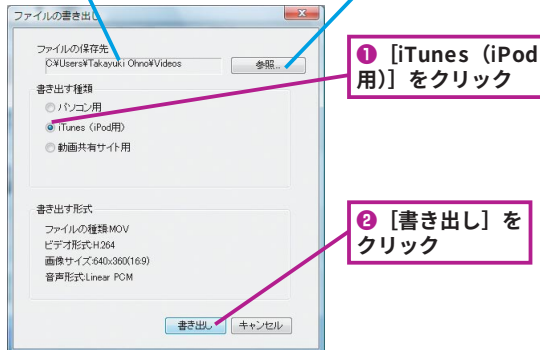
3 書き出すファイルを設定する

「ファイルの書き出し」が表示された

ここではiPodで見られる形式のファイルで書き出す

「ファイルの保存先」には保存先のフォルダ名が表示される

「参照」をクリックすると保存先のフォルダを変更できる



① [iTunes (iPod用)] をクリック

② 「書き出し」をクリック



書き出したファイルをiPodに
転送できるようにするには

このレッスンで書き出した映像ファイルは、iPodに対応した形式のファイル（ファイル形式MOV、ビデオ形式H.264、サイズ640×360ドット）となります。このファイルをiPodで再生したいときは、iTunesのライブラリに映像ファイルを追加してから、パソコンに接続したiPodに転送します。



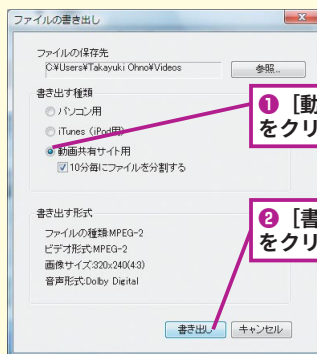
間違った場合は？

手順3でファイルの種類を間違えてしまったときは、手順4で「キャンセル」ボタンをクリックして書き出し作業を中断し、もう一度、操作をやり直します。



動画共有サイト向けに ファイルを書き出すこともできる

インターネット上の動画共有サイトに映像を投稿したいときは、手順3で「動画共有サイト用」を選択してファイルを書き出しましょう。ただし、利用できる形式や映像の長さなどは動画共有サイトによって異なります。ImageMixer 3 SEで作成されるファイルは、MPEG-2形式の320×240ドットの映像となり、10分ごとにファイルを分割することができますので、利用するサイトの条件を確認して設定しましょう。

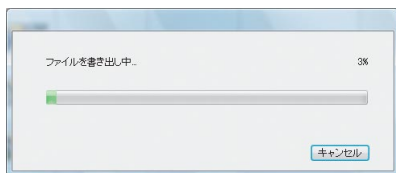


① 「動画共有サイト用」をクリック

② 「書き出し」をクリック

4 ファイルの書き出しが開始された

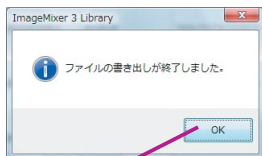
ファイルの書き出しが開始され、「ファイルを書き出し中」と表示された



書き出しが完了するまでしばらく待つ

5 ファイルの書き出しが完了した

ファイルの書き出しが正常に完了すると、「ファイルの書き出しが終了しました」と表示される



「OK」をクリック



Point

いろいろな用途の映像をかんたんに作れる

ImageMixer 3 SEを利用すると、パソコンやDVD用の映像だけでなく、iPod用や動画共有サイト用の映像を手軽に作れます。これまで、こういった映像の作成には細かな設定や変換用のソフトが必要でしたが、ImageMixer 3 SEなら、あらかじめ用意された設定を選択す

るだけとかんたんです。iPodに入れて映像を持ち歩いたり、動画共有サイトで公開したり、自分のブログに貼り付けてほかの人に見せたりと、映像をさらに楽しんでみましょう。ただし、作成に時間がかかりますので、最初は短い映像から試してみるとよいでしょう。

レッスン 12

映像をアイビスや SDカードに保存するには ファイルの書き戻し

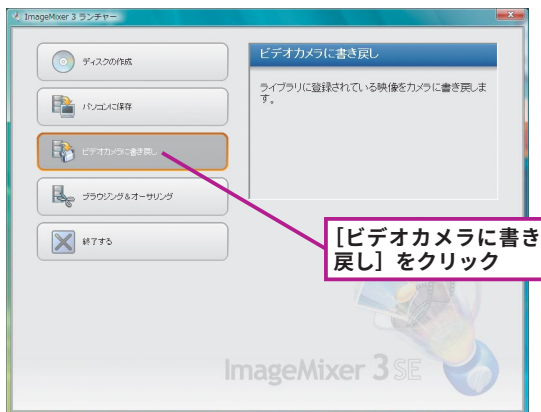
パソコンで編集した映像は、アイビスの内蔵メモリーやSDカードに書き戻すこともできます。ファイルを書き戻す方法を見てみましょう。

1 アイビスとパソコンを接続する



2 ビデオカメラに書き戻す画面を表示する

ImageMixer 3 ランチャーが起動した

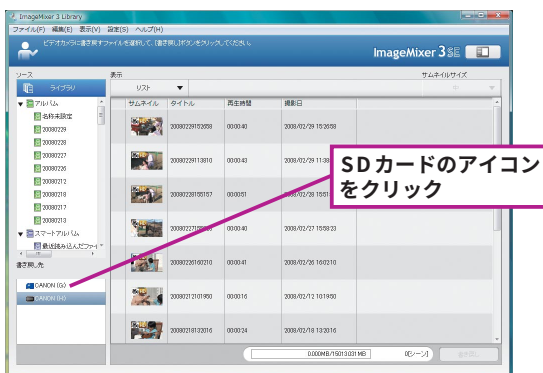


3 ファイル書き戻し先を選択する

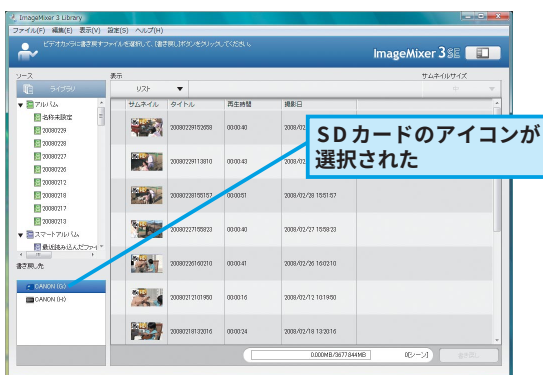
ビデオカメラに書き戻すための画面が表示された

映像のファイルを書き戻す先を選択する

ここではアイビスに挿入されたSDカードを書き戻し先にする



4 書き戻し先を選択できた



アイビス本体の内蔵メモリーにも書き戻せる

映像をアイビス本体の内蔵メモリーに書き戻したいときは、手順3の書き戻し先の選択で内蔵メモリーのアイコン（)をクリックして、レッスンと同様にファイルを書き戻しましょう。



[書き戻し先]で内蔵メモリー、SDカードのどちらに書き戻すかを選択できる



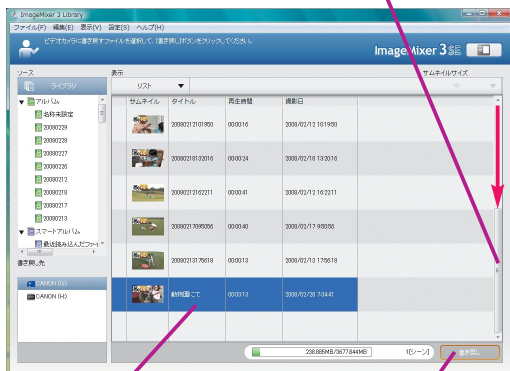
間違った場合は？

手順2で「ビデオカメラに書き戻し」を選択できないときは、パソコンにアイビスが接続されていないか、電源がオンになっていない可能性があります。接続や電源を確認して、もう一度、操作をやり直しましょう。

5 書き戻す映像を選択する

ここでは、レッスン④～⑥で編集し、保存した映像を書き戻す

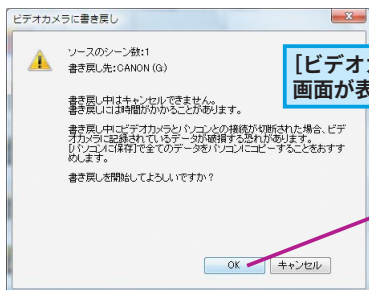
① スクロールバーを下にドラッグしてスクロール



② SDカードに書き戻す映像をクリック

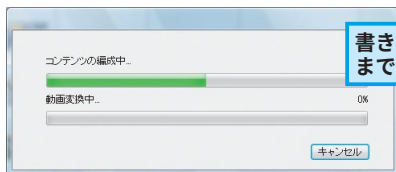
③ 「書き戻し」をクリック

6 映像の書き戻しを開始する



「ビデオカメラに書き戻し」画面が表示された

「OK」をクリック



書き戻しが完了するまでしばらく待つ

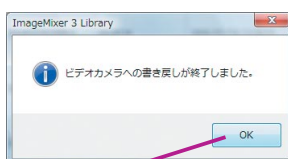


SDカードの容量に注意しよう

書き戻す映像の長さと、利用するSDカードの容量によっては、ファイルが大きすぎてSDカードに保存できない場合があります。特に複数の映像をつなぎ合わせて自分で作成した映像の場合、サイズが大きくなっていることもありますので、最低でも1～2GBのSDカード、できれば4GB以上のSDHCカードを用意しておくことをおすすめします。

7 映像の書き戻しが完了した

アイビスへの書き戻しが正常に完了すると「ビデオカメラへの書き戻しが終了しました。」と表示される



「OK」をクリック

12

ファイルの書き戻し



Point

映像を持ち出してみんなで楽しめる

内蔵メモリーやSDカードなど、パソコンの映像をアイビス本体に書き戻すと、その映像をアイビスで再生できます。この方法を利用すると、たとえばDVDプレーヤーがない場合や、DVDプレーヤーはあってもAVCHD規格の再生に対応していない場合でも、アイビスを家

庭用のテレビに接続することで映像を再生することができます。友人の家で以前に撮影した映像を見せたり、実家に帰省したときに編集した映像を見せたりするなど、どこにでも映像を持ち出して、みんなで楽しむことができますので、ぜひ活用すると良いでしょう。

■著者

清水理史（しみずまさし）shimizu@shimiz.org

1971 年東京都出身。外資系企業のシステム管理者を経て、1997 年にフリーライターとして独立。雑誌やWeb媒体を中心にOSやネットワーク、ブロードバンド関連の記事を数多く執筆。『BroadBand Watch』にて、ブロードバンド関連の話題を扱う『イニシャルB』を連載中。おもな著書に『できるPRO Windows Server 2008』、『できるインターネット&メールの「困った！」に答える本Windows XP SP2 対応』、『できるXbox 360公式ガイド』、『できるパソコンのお引っ越し』、『できるWindows Vista』、『できるPRO BlackBerryサーバー構築』（インプレスジャパン）などがある。

できるアイビス iVIS HF11 映像編集編（以下、本書）は、キャノンマーケティングジャパン株式会社から株式会社インプレスジャパンが委託を受けて制作した特別版です。本書は無償で提供されるものであり、本書の使用または使用不能により生じたお客様の損害に対しキャノンマーケティングジャパン株式会社ならびに株式会社インプレスジャパンは一切の責任を負いかねます。また、本書に関するお問い合わせはお受けしておりません。あらかじめご了承ください。

できるアイビス

iVIS HF11 映像編集編

編集	できるシリーズ編集部
執筆	清水理史
協力	キャノンマーケティングジャパン株式会社
イメージイラスト	廣島 潤
テクニカルイラスト	福地祐子・松原ふみこ
シリーズロゴデザイン	山岡デザイン事務所
カバーデザイン	ON Design／中島信浩

Copyright © 2008 Masashi Shimizu and Impress Japan Corporation. All rights reserved.

2008年8月発行

本書の内容はすべて、著作権法によって保護されています。著者および発行者の許可を得ず、転載、複写、複製等の利用はできません。

発行 株式会社インプレスジャパン An Impress Group Company
〒102-0075 東京都千代田区三番町20

「できるサポート」では、本書に関するお問い合わせにはお答えしておりません。あらかじめご了承ください。

できるシリーズ

シリーズ
3000万部
突破!

もっと使いこなしたいあなたに

できるWindows Vista



法林岳之・一ヶ谷兼乃・清水理史&
できるシリーズ編集部
定価1,344円(本体1,280円+税)
デジカメもIE7も検索も、新しい
Windowsがわかる!

商品番号 2350

できるWindows Vista



SP1対応 完全活用

清水理史&できるシリーズ編集部
定価1,659円(本体1,580円+税)
USBメモリを利用してパソコンを高
速化するなど、使いこなすワザが満載。

商品番号 2572

できるポケット iPod nanoとiTunesで



すぐに音楽が
楽しめる本
iTunes 7.5 &
Windows Vista/
XP対応

商品番号
2495

小寺信良&できるシリーズ編集部
定価924円(本体880円+税)
iTunes 7.5に完全対応! 基本から活用
までよくわかる!

できるポケット+ YouTubeで



ドキドキ!
わくわく!
動画ライブを
楽しむ本

商品番号
2422

津田大介&できるシリーズ編集部
定価819円(本体780円+税)
話題の動画共有サイト「YouTube」を
使いこなそう!!

できるホームページ・ ビルダー12

Windows Vista/
XP対応商品番号
2494

広野忠敏&できるシリーズ編集部
定価1,575円(本体1,500円+税)
ホームページの開設から編集、公開まで、
ホームページ作りの流れがよくわかる!

できるPhotoshop Elements6

Windows Vista/
XP対応商品番号
2481

須和方博・かわせかよこ&できるシリーズ編集部
定価1,764円(本体1,680円+税)
失敗写真の補正から、合成写真の作り方、
RAW現像まで詳細解説。

できるポケット+ iPod touch

商品番号
2484

林信行・田中拓也&できるシリーズ編集部
定価1,260円(本体1,200円+税)
音楽を聴く、Webやビデオ、写真を見る。
話題のiPod touchの楽しみ方を解説。

できるポケット+ iPhoto&iMovieで



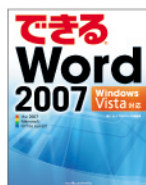
写真と動画
を見る・遊ぶ・
共有する本
iLife'08対応

商品番号
2503

松村太郎&できるシリーズ編集部
定価1,260円(本体1,200円+税)
iPhoto&iMovieで写真と動画の新しい
魅力を発見しよう!

できるWord 2007

Windows Vista対応

商品番号
2351

田中亘&できるシリーズ編集部
定価1,344円(本体1,280円+税)
企画書もはがきも帳票も、Word 2007
の使いこなし方、満載!

できるExcel 2007

Windows Vista対応

商品番号
2352

小館由典&できるシリーズ編集部
定価1,344円(本体1,280円+税)
数式もグラフも関数も、Excel 2007が
今日から使える!役に立つ!

携帯電話からも
購入できます

- ①ipc@morder.jpへ空メール(件名、本文なしのメール)を送る。
※ドメイン指定受信を設定していると全ての確認メールが届きません。その場合は必ずmorder.jpを追加してください。
- ②折り返し届く注文サイトURLにアクセス、手順に従い広告に掲載されている商品番号を入力してください。



できるシリーズもすぐ買える!

版元直販サイト インプレスジャパン ダイレクト

<http://direct.ips.co.jp/ij/>

読者会員制度と出版関連サービスのご案内

登録カンタン
費用も無料!

CLUB
IMPRESS

今すぐアクセス! club.impress.co.jp

お問い合わせ・ご注文は...インプレスカスタマーセンター

Tel: 03-5213-9295 Fax: 03-5275-2443 E-mail: info@impress.co.jp

発行/インプレスジャパン An Impress Group Company 発売/インプレスコミュニケーションズ An Impress Group Company

画面で見せる入門書の**元祖**です

できるシリーズは、画面で見せる入門書の**元祖**です。
見開き完結のレッスンを基本とし、レッスン1から順を追って
進めていくことで、**カンタン**なことから始められます。
また、レッスンを進めるにしたがって、必要な知識が**身につく**構成に
なっています。できるシリーズなら、**はじめて**の人でも**安心**です。

- ▶ オールカラーの紙面でわかりやすく解説
- ▶ レッスン単位でステップアップ学習できる
- ▶ 各レッスンごとに重要ポイントを掲載
- ▶ 関連知識をヒント形式で解説